

## 乳幼児期(0～2歳ごろ)の大切なことって？

「未来に向かう力」の芽を育みます

- 子どもの思いをくみとろうとしながら関わることで、意欲や自信、気持ちを感じる力など「未来に向かう力」の芽が育まれます。

### 赤ちゃんって……？

#### 見ているのかな？

生後まもなく、幸せや悲しみ、驚きの表情を区別しています。



#### 感じているのかな？

微笑みや優しい声から安心感を、怒りや悲しみの表情から危険を察知しています。



#### 聞いているのかな？

大人の笑い声、優しい響きを聞いています。

#### 伝えているのかな？

快いこと、不快なことを表情で伝えています。表情を受け取り、その表情をまねながらコミュニケーションします。

赤ちゃんは、大人との関わりによって経験した(受けた)表情に影響を受けます。「不快」な表情を受ける経験が多いと、自分の身を守ろうとする傾向が強くなっていきます。



大方先生

赤ちゃんは、言葉で会話していなくても、人の声や顔に注目するなど、様々なことを感じています。

この人を信頼しているのか、安心できるのか、保護者の表情や声かけから感じとります。また、生まれつき「快い」も「不快」もどちらの表情ももっています。自分の「快い」時と同じ表情(シグナル)を与えてくれる人を見て安心感を抱きます。子どもは、安心できる大人の温かくて柔らかい表情と優しい声かけを、いつも待ち望んでいます。

この時期の関わりが、「目標に向かってがんばる力」「気持ちをコントロールする力」「人と関わる力」の芽を育みます。



### 赤ちゃんの動きに反応する

赤ちゃんの動きや表情にあわせて反応したり、語りかけたりすることで、意欲が育まれます。

大人が反応することで、赤ちゃんは「こたえてもらった!」という喜びを感じ、声や動きなどで表現しようという意欲につながります。

### 赤ちゃんの気持ちを言葉にする

(汗をかいていれば)  
汗をかいたね  
気持ち悪いね



子どもの思いをくみ、その気持ちを言葉にして話しかけることで、気持ちを感じる力の芽が育まれます。

「泣きやませなければならぬ」ではなく、泣いている子どもの思いをくみとって、こたえることが大切です。

### 赤ちゃんがしたいことを……

見守ったり一緒にしたりすることで、意欲や自信の芽が育まれます。

近くに「さわりたい」「つかみたい」というような物があると、それをめざしてはったり、歩いたりして近づきます。それを引っぱったり、手から離れる様子を見たりと、偶然起こった様子におもしろさを感じて、「次はこうしてみよう。こうしたらどうなるのだろう。」と、その子なりの遊びを発展させます。

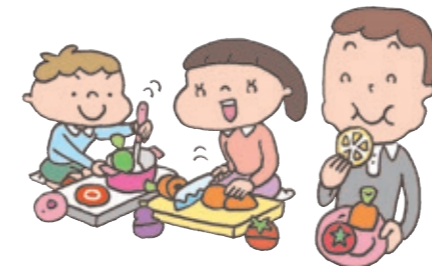
ティッシュを引きぬいて遊んでいることも、子どもの成長につながっています。「ティッシュで遊ぶのは困る」と思う場合など、遊ばれると困る物や危険な物がある時は、子どもの届かないところに置きましょう。

シュッて音がするね  
たくさん出てくるね  
ふしぎだね



ティッシュが散らかると大変なだけけど…… 楽しそう。させてあげた方がいいのかな? 片付けが大変だけど……

### まねやごっこ遊びを……



ありがとう  
おいしいね

見守ったり、一緒に楽しんだりすることで、意欲や人の気持ちを感じる力の芽が育まれます。

子どもは「いいな」と感じたことをまねします。また、幼児期になると、ごっこ遊びを楽しんだりもします。こうした行動は周りへの関心の高まりによるものです。子どもが遊びを楽しめるように見守ったり、一緒に遊んだりしましょう。

**Q** 1歳の子どもですが、全然、がまんできません。どうすればいいでしょうか。

**A** 4歳ごろから、目標に向かってがまんする力が発達します。

そもそも「がまん」にも2種類あります。1つめは、親や教師にさせられるがまん。「がまんしなさい。」という時のがまんはこちらです。2つめは、子どもが自分で目標に向かってがまんすること。例えば、大好きなブランコの前に行列ができていた時「すぐ乗りたい」気持ちをがまんして順番を待つこと。2つめのがまんが「未来に向かう力」なのですが、こちらは4歳ごろから発達します。3歳より小さな子どもにがまんさせてもその力は育ちません。その時期には、2～6ページに書いてある関わりを大切にしてください。

ただし、1歳の子ども、危険な物にさわろうとしていた時などは、それをとめて、ダメと教えてください。(同時に、危険な物は、子どもの届かないところに置きましょう。)



森口先生

▼大阪府内の児童相談窓口はコチラ  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/jidosoudan/>



困った時は、誰かに話してみよう

子育てで迷ったり悩んだりするのは…… あなただけじゃないよ